

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大津荷敷屋線道路局部改良事業	田辺市	3,195,500	2,692,000	
2						
3						
4						
5						
6						
7						

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和6年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大津荷敷屋線道路局部改良事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		田辺市				
交付金事業実施場所		田辺市本宮町小津荷				
交付金事業の概要		<p>大津荷敷屋線は、旧国道でその先には集落が存在しており、住民には欠かせない生活道路であり、また非常時の迂回路としても重要な路線であります。</p> <p>法面工事を行うことで、降雨時（大雨・台風）の法面崩壊といった危険を軽減し、通行を可能にすることで、住民の安全を確保しました。</p> <p>法面工 延長L=13.0m、幅員W=6.0m</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>政策:第6章「快適」 施策:1.生活基盤 単位施策:(1)道路網</p> <p>② 市道については、平成28年3月末現在で2,989路線、総延長1,372キロメートルとなっておりますが、道路の整備水準を示す改良率は41.8パーセントであり、今後も計画的な整備が必要であるとともに、老朽化している橋梁等の長寿命化対策が大きな課題となっております。</p> <p>・生活道路の利便性、安全性を確保するため、道路の局部改良や舗装、維持など効率的・効果的な整備を進めます。</p> <p>目標:地域住民の通行の安全を確保できること</p>				
事業開始年度		令和6年度	事業終了年度		令和6年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度(令和6年度)
		—	—	成果実績	—	—
				目標値	—	—
				達成度	%	—
		評価年度の設定理由				
交付金事業の成果目標及び成果実績		<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施</p> <p>交付金事業の定性的な成果及び評価</p> <p>道路を局部改良することにより、地域住民をはじめとする通行者の安全が確保されました。</p>				

	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	
	法面工 延長L=13.0m、幅員W=6.0m	活動実績	式	1	
		活動見込	式	1	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和6年度	年度	年度	備考	
総事業費	3,195,500				
交付金充当額	2,692,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	2,692,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	法面工事	一般競争入札	竹内工務店(田辺市)	3,195,500	
	計				3,195,500
交付金事業の担当課室	田辺市建設部土木課				
交付金事業の評価課室	田辺市企画部企画広報課				